

# 両神山 (1723m)

日時 2015年4月26日(日)

参加者 石川誠他 1名

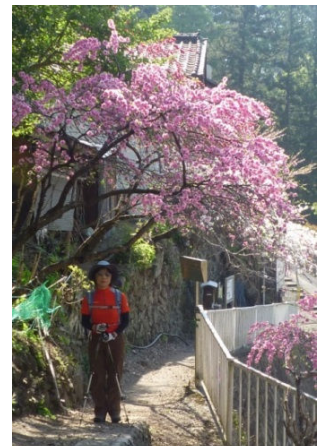
行程 横須賀 4:44-関越道花園 IC~皆野、小鹿野経由- 8:05 日向大谷口路上駐車  
8:20-日向大谷 8:40- 会所 9:20-11:40 清滝小屋 12:00-13:15 両神神社 13:25-14:00  
両神山 14:15-両神神社経由 15:44 清滝小屋 15:54-18:20 日向大谷-19:55 国民  
宿舎「両神荘」宿泊

横須賀を朝早く出発、関八~関越道に入り、花園で降りて一路日向大谷を目指す、日向大谷の近くでは道も狭くなり、町営バスとの交差もあり登山口の手前で誘導員に止められ、路上駐車を余儀なくされる。

日曜日でもあり、登山口の近くには多くの車が止まっていた。

登山姿に身を整え此処から歩き出す。両神荘にある、登山口まで40分舗装された坂道を歩く。

登山口には桃の木であろうか花盛りで、澄んだ青空に映えていた。



「桃の花」



「二輪草」

会所で七滝澤への道を分け一般道に行く。尾根を回り込み薄川の沢何処に降り立つ、ここら辺はサワグルミなど広葉樹林が映えて新緑が美しい。不動明王が置かれた八海山を過ぎ、清水が湧く弘法の井戸で喉を潤しほどなく清滝小屋に到着する。立派な小屋である。小屋の裏手から産泰尾根に取りつき、傍らには二輪草が咲いていた。2.3箇所鎖場を過ぎて両神神社に付く。

このこの狛犬ではなく、狼が祀られている。アカヤシオの群落を過ぎ急登~鎖場を過ぎると頂上であった。頂上は狭く遠く荒船、妙義、浅間山や、八ヶ岳も霞の中に望むことが出来た。

下山は元の道に戻り夕方近く登山口に戻る。此処から後1ピッチ車道を歩いていると町営バスの運転手さんにバスに乗って行けと声を掛けられる。車の場所までかなり下ったので運転手さんもそれを知っていて声を掛けて下さったのであろう。人情に触れた山旅であった。感謝。



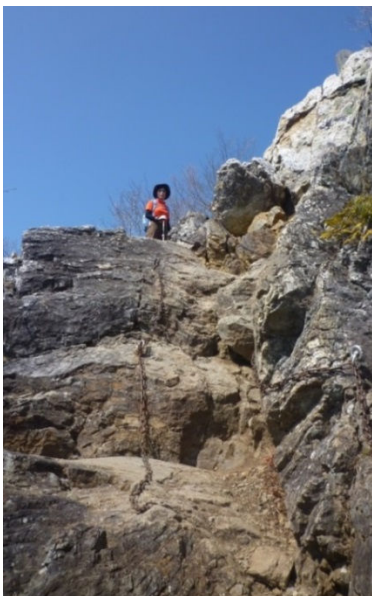
「清滝小屋」



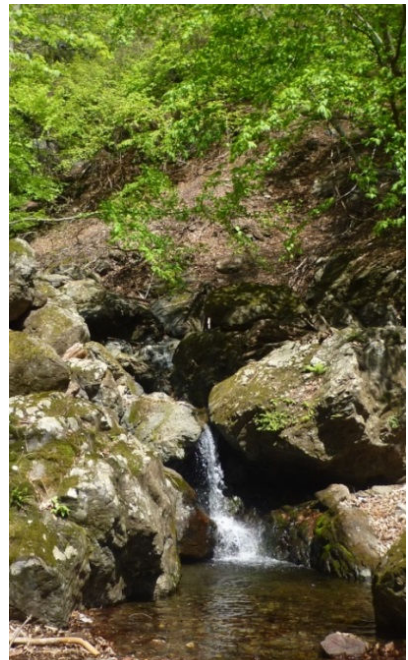
「弘法の井戸」



「猫の目草」



「頂上直下鎖場」



「きれいな沢の流れ」